

## チャレンジ！！オープンガバナンス 2024 市民／学生応募用紙

<b>自治体提示の地域課題名(注1)</b>	No.	自治体提示の地域課題名	自治体名
		リサイクル率向上への取り組み	裾野市
<b>チームがつけたアイデア名(公開)(注2)</b>	裾野市のリサイクル率を上げよう		

(注1) 地域課題名は、COG2024 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

### 1. 応募者情報 下の欄のうち選択肢項目は右のドロップダウンで選んでください

チーム名(公開)	ペガサス		
チーム属性(公開)	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生 <span style="color: red;">ドロップダウン選択→</span>	2. 学生	
チームメンバー数(公開)	4名		
代表者(公開)	長田美七海		
メンバー(公開)	遠藤雫葉、勝又杏樹、大越翔馬		

**【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。**

#### ＜応募の際のファイル名と送付先＞

- 応募の際は、ファイル名を COG2024\_応募用紙\_具体的なチーム名\_該当自治体名にして、COG2024 のウェブサイトにある【応募フォーム】からアップロードしてください。

#### ＜応募内容の公開＞

- アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者および公開に同意したメンバー氏名 ([メンバー一覧ページ](#) を参照)、「アイデアの説明」は公開されます。
- 公開条件について:  
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY(表示)4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC(表示—非営利)4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。  
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja> および <https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
- 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開しません)
- この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

#### ＜知的所有権等の取扱い＞

- 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
- 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

アイデアの説明が肖像権・著作権等を侵害していないことを確認してください。OKなら右欄の○を選択 →

OK

#### ＜チームメンバー名簿: [メンバー一覧ページ](#)＞

チームメンバーに関する情報を該当ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

アイデアの説明は(1)アイデアの内容(活動)、(2)アイデアの理由(なぜなら)、(3)実現までの流れ、の三項目あります。それぞれ書いてください。必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

#### (1) アイデアの内容(公開)

アイデアは、対象とする課題解決のために、どのような社会的活動(サービス)を行うのかを具体的に示してください。

## 2. アイデアの説明（公開）

### (1) アイデアの内容（公開）

将来実現した場合に、新規性があり、実践したくなり、魅力的でワクワクするようなアイデアを求めます。その結果、課題が解決され、社会に良い変化をもたらすことが期待されます。2 ページ以内でご記入ください。

※応募チームとして解決したい課題のポイントを、以下にごく短く書いてください

<解決したい課題のポイント>

裾野市のリサイクル率を上げる

※以上の課題解決のために『何』をするアイデアか、それを『だれ』が『だれ』に対して『いつ』『どこで』『どのように』行うのか、受益者自身が主体的に関わる視点も視野に入れてわかりやすく書いてください。アイデアが具体的に実行される場面を想定し、説明をお願いします。

（参考）よいアイデアを生むには関連データの分析に加えてデザイン思考によるアイデアを利用する人への共感（使う人の立場になってみる）が大切です。

<提案するアイデアの内容>

この提案は、裾野市のリサイクル率を向上させるためのアイデアです。

「誰が」裾野市民が

「誰に対して」今後の裾野市に対して

「いつ」日々の生活の中で

「どこで」ゴミを捨てる際に

「どのように」一人一人が意識すること

裾野市のリサイクル率を向上させるため、まず「なぜリサイクルが必要なのか」を住民に理解してもらうことを目的に、何回かに分けて説明会を開催し話し合いを行います。

その後、説明会の内容やリサイクルの重要性を、回覧板などを通じて地域全体に共有します。

地域の住民一人一人が、現在の裾野市のリサイクル状況とその必要性を理解した上で、区長などのリーダーを中心に協力してリサイクル活動を進めます。

また、小学校や高校では、ペットボトルや古紙の回収活動を行い、教育現場でもリサイクル率向上への取り組みを支援します。具体的には、ペットボトルはキャップとラベルを分けて回収し、古紙についてはチラシや雑誌を回収対象とし、授業で使用したプリント類は回収しないようにします。

リサイクル率の大幅な向上は一朝一夕には難しいですが、地域全体で協力し合い、少しずつ着実に改善を目指していきます。

--

## 2. アイデアの説明（公開）

## (2) アイデアの理由（公開）

### (2) アイデアの理由（公開）

次にアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

※このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます。

※先に書いた『何を』『だれが』『だれに対して』『いつ』『どこで』『どのように』というアイデアの内容を支えるために、『なぜ』このアイデアが有効で、実現する意味があるのか』を、上記のデータを使ってわかりやすく説明します。

<参考：以下のように理由を書いていきます>

※根拠：このアイデアがなぜ必要であるか、またはなぜ有効だと考えるのか、その筋道を説明します。

※裏付け：その根拠を支えるために、統計データや報告書、事例などを使って補強します。さらに具体的なアイデアの効果についても、何らかのデータを使うと説得力が増すでしょう。（定性データを含めて歓迎）

裾野市のリサイクル率が年々減少している現状を踏まえると、リサイクル率を向上させるためには地域住民の協力が不可欠であると考えました。

その理由の一つとして、2017年の静岡県リサイクルランキングを確認した際、1位の潮西市がリサイクル率38.9%であるのに対し、裾野市は34位でわずか8.7%だったことが挙げられます。また、「裾野市リサイクル率」と検索すると、2017年のデータよりさらにリサイクル率が低下していることが分かりました。

もう一つの理由として挙げられるのが、リサイクル率日本一を誇る鹿児島県大崎町の事例です。以前大崎町へヒアリングにした際に、リサイクル可能なものをすべて埋め立ててしまうとリサイクル率は0%になり、決して向上しないとのことでした。そのため、大崎町では埋め立てを20%に抑え、残り80%をリサイクルに回しているそうです。また、大崎町では住民の理解を得るために約3ヶ月をかけて450回の説明会を実施したとのことでした。

この事例を参考に、裾野市でも長い期間をかけて市民全員の理解を深めるための説明会を実施し、地域全体でリサイクルへの意識を高めていけたらと考えています。



### (3) アイデア実現までの流れ(公開)

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大ききな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策を含め、アイデア実現までの大ききな流れについて、**2ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

※アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきます

<以下のように分けて書いていきます>

1. **実現する主体**
2. **実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大ききな規模とその現実的な調達方法
3. **実現にいたる時間軸を含むプロセス**

1. まず、裾野市民の協力を得る前に、学校内でリサイクル活動に取り組み、「私たちの学校ではこのような活動をしています」という取り組みを地域に発信することで、理解を得るための土台を作ります。その後、市長の協力を得て、地域全体に「なぜリサイクルが必要なのか」「裾野市民の協力が不可欠である理由」を説明会を通じて伝えます。住民の理解を得た後、地域全体でリサイクル活動を推進します。

2. 人(ヒト): 裾野市民全員が、地区のリーダーを中心に協力しやすい体制を整えます。説明会や声掛けを通じて、一人一人に参加して頂くよう呼びかけます。

物(モノ)と金(カネ): リサイクル活動を進めるにあたり、大きな物資や資金は必要ないと考えています。

3. 約3~4ヶ月を目安に説明会を実施し、地域全体の理解を深めた後で、リサイクル活動を本格的に開始します。